

## 「ヨハネへの啓示」と神の敵たち

「それらの息により、王たちはヘブライ語でハルマゲドンと呼ばれる場所に集められた」。[啓示 16:16](#) それらの息(\*言葉。ギ語プネウマ)により、王たちはヘブライ語でハルマゲドン(\*アルマゲドン。メギドの山という意味)と呼ばれる場所に集められた

### [150 番の歌 救いのために神に頼る](#)

何を学ぶか\* 「啓示」の書に載せられているしるしは、神の敵が誰であるかを明らかにしています。そのしるしを理解する上で、ダニエル書は役立ちます。この記事では、啓示の預言とそれに似ているダニエルの預言を比較して考えます。そうすれば神の敵が誰であるかを理解できるでしょう。また、神の敵たちがどうなるかについても考えます

1. 「啓示」の書は、神に仕える人たちについてどんなことを明らかにしていますか。

「啓示」の書が明らかにしているところによると、神の王国は天に設立され、サタンは天から追い出されました。 (啓 12:1-9) そして、天で戦争が起こった。ミカエル(意味「誰が神のようだろか」)と天使たちが竜と戦ったのである。竜と邪悪な天使たちも応戦した。8 しかし彼らは勝つことができず(if\*竜は敗れ)，天に彼らの居場所はなくなった。9 こうして、大きな竜は投げ落とされた。あの初めの蛇で、悪魔サタンと呼ばれ、全世界を惑わしている者である。彼は地に投げ落とされ、邪悪な天使たちも共に投げ落とされた) その結果、天は平和な所になりましたが、地上に住む私たちは難しい問題を経験しています。なぜでしょうか。サタンが怒りを抱いて、エホバに忠実に仕えている人たちを攻撃しているからです。 (啓 12:12 それで、天とそこに住む者たち、喜びなさい！ 地と海には災いが降り掛かります。悪魔が、自分に残された時が短いことを知り、大きな怒りを抱いてあなた方の所に下ったからです。 15 蛇は、口から水を川のように女の後ろに吐き出して、彼女を溺れさせようとした。 17 それで竜は女に対して激怒し、彼女の子孫(d\*種)のうちの残っている人たち、すなわち、神のおきてを守り、イエスについて証言する務めを与えられている人たちと戦うために去っていった)

2. しっかりと立ち続ける上で、どんなことが助けになりますか。

2 どうすれば、サタンの攻撃を受けてもしっかりと立ち続けることができるでしょうか。 (啓 13:10 捕らわれことになっている人は、捕らわれる。剣で殺す人(if\*剣で殺されることになっている人)は、必ず剣で殺される。そのため聖なる人たちには忍耐と信仰が必要になる) 将来にどんなことが生じるかを知っておくことは助けになります。例えば、「啓示」の書の中で使徒ヨハネは、私たちが間もなく経験する祝福について述べています。その祝福には、神の敵が滅ぼされるということが含まれています。では、「啓示」の書の中で神の敵がどのように描かれているか、またそれらの敵がどうなるかを調べていきましょう。

# 神の敵を表す「しるし」



3. 「啓示」の書の中に出てくるしるしには、どんなものがありますか。

3 啓示 1章 1節 イエス・キリストによる啓示(意味：明らかにすること/覆いを取ること)。これは神が、間もなく必ず起きる事柄をご自分の奴隸たちに示すため、イエスに与えたものである。イエスは天使を遣わし、その天使を通して、しるし(\*)によって自分(if\*神)の奴隸ヨハネにこの啓示を伝えたによると、「啓示」の書は「しるしによって」、つまり象徴的な言葉で書かれています。例えば、神の敵は何匹かの野獸で描かれています。まず、「1匹の野獸が海から上ってき」ます。その野獸には「10本の角と7つの頭」があります。(啓 13:1) 竜は海辺の砂の上で立ち止まった。私がさらに見ていると、1匹の野獸が海から上ってきた。10本の角と7つの頭があり、角には10の王冠があり、頭には神を冒瀆する名が記されていた) 次に、「別の野獸が地から上ってき」ます。その野獸は竜のように話し、「火を天から地に降らせ」ます。(啓 13:11-13)さらに見ていると、別の野獸が地から上ってきた。その野獸は、子羊のよう2本の角があり、竜のように話し始めた。12 そして、初めの野獸が持っていた権威全てを、その前で行使する。また、地とそこに住む人々に、致命的な傷が治った初めの野獸を崇拜させる。13 さらに、大きな奇跡(d\*しるし)を行い、人類の前で火を天から地に降らせることさえする) その後に登場するのは「緋色の野獸」です。その野獸には娼婦が乗っています。これらの3匹の野獸は、エホバ神と神の王国に長年敵対してきたものを表しています。ですから、これらの野獸の正体を知るのは本当に重要なことです。(啓 17:1) 7つの鉢を持つ7人の天使の1人が来て、私にこう言った。「来なさい。多くの水の上に座る大娼婦に対する処罰を見せましょう、3 そして天使は、聖なる力によって私を荒野に連れていった。そこで私が見ると、女が緋色の(\*赤い)野獸の上に座っていた。野獸は神を冒瀆する名で覆われており、7つの頭と10本の角があった)

I. どうすれば「啓示」の書に載せられているしるしの意味を理解できますか。



#### 4匹の巨大な獸

「海から」出てくる。 ([ダニエル 7:1-8, 15-17](#)) これらの獸は、神に仕える人たちに大きな影響を与えた、ダニエルの時代以降の世界強国を表している。 (4, 7節を参照。)

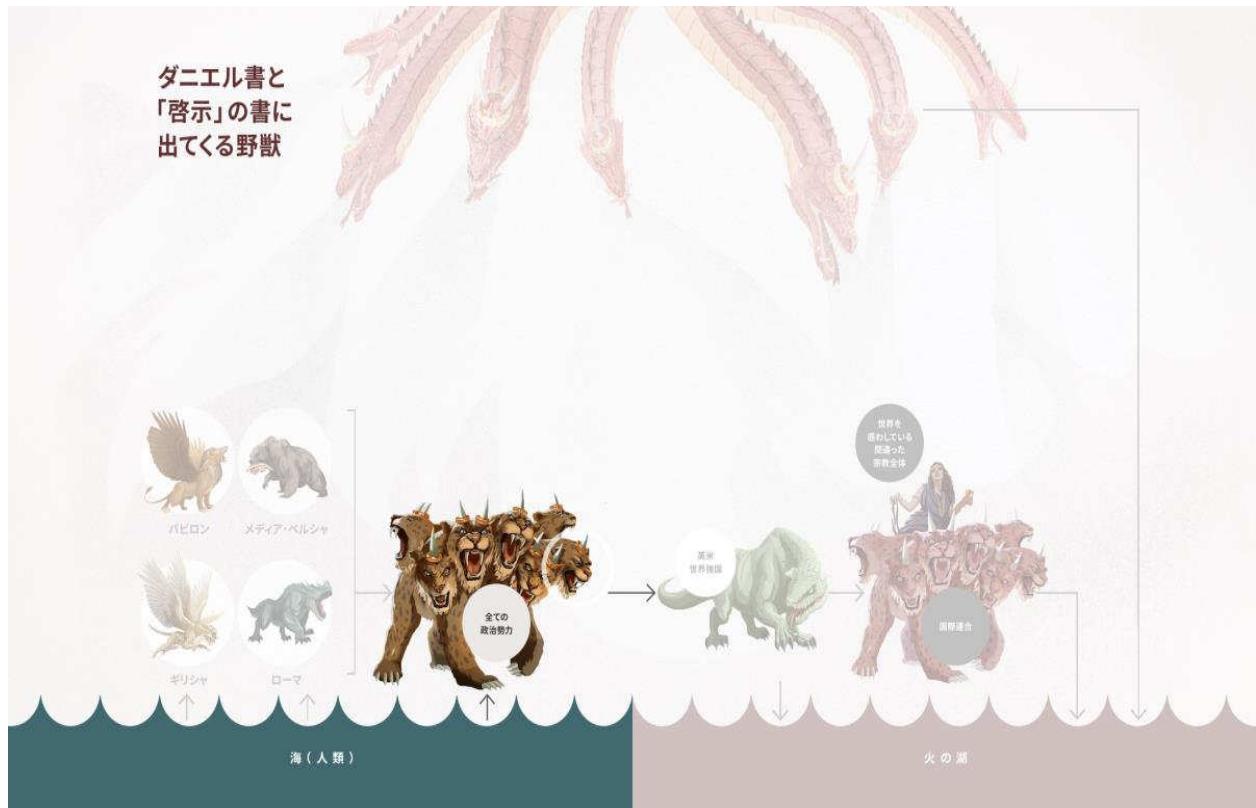
4-5. 野獸が何を表しているかを理解する上で、[ダニエル 7章 15-17節](#)はどのように助けとなりますか。

4 神の敵の正体を知るためには、この象徴的な言葉が何を意味するのかを理解する必要があります。そうする上で、聖書そのものを調べることが役に立ちます。「啓示」の書に出てくる象徴的な言葉の多くは、聖書のほかの部分ですでに説明されています。例えば、ダニエルは夢の中で、「4匹の巨大な獸が海から出て」くるのを見ました。 ([ダニエル 7:1-3](#) バビロンのベルシャザル王の治世の第1年に、ダニエルは夢を見た。床に就いていた時に頭の中で幻を見たのである。それで、その夢を書き留め、見た内容を全て記録した。 2 ダニエルは言った。「私が夜に幻を見ていると、天の四方の風が広大な海を波立たせていた。 3 そして、4匹の巨大な獸が海から出てきた。それぞれ姿が異なっていた） そして、それが何を意味するかを述べています。4匹の巨大な獸は、4人の「王」、つまり政府を表しています。 ([ダニエル 7:15-17](#) 私ダニエルは、頭の中で見た幻のせいで怖くなり、心がかき乱された。 16 それで、立っている者の1人に近づき、見た事柄の意味を尋ねた。すると彼は答えて、これらのことを見解明かしてくれた。 17 『この4匹の巨大な獸は、地上で権力を握つようになる(d\*立ち上がる)4人の王ですを読む。） このはっきりした説明から、「啓示」の書に出てくる野獸も政治勢力を表しているに違いない、と理解することができます。

5 これから、「啓示」の書に出てくるしるしの幾つかを調べていきます。それらのしるしにどんな意味があるかを理解する上で、聖書が役に立つということが分かるでしょう。まずは、3匹の

野獸について調べます。それぞれの野獸は何を表していますか。それらの野獸はどうなりますか。私たちは何を行なべきですか。では、順番に考えていきましょう。

## 神の敵の正体が明らかにされる



### 7つの頭がある野獸

「海から」上ってくる。7つの頭と10本の角と10の王冠がある。[\(啓13:1-4\)](#) この野獸は、これまで人類を支配してきた全ての政府を表している。7つの頭は、神に仕える人たちに大きな影響を与えてきた7つの世界強国を表している。(6-8節を参照。)

6. [啓13章1-4節](#)に出てくる、7つの頭がある野獸は何を表していますか。

6 7つの頭がある野獸は何を表しているか。[\(啓13:1-4\)](#) 竜は海辺の砂の上で立ち止まった。私がさらに見ていると、1匹の野獸が海から上ってきた。10本の角と7つの頭があり、角には10の王冠があり、頭には神を冒瀆する名が記されていた。2 私が見たその野獸はヒョウに似ていたが、足は熊の足のようで、口はライオンの口のようだった。そして、竜から力と座と大きな権威を与えられた。3 野獸の頭の1つが傷つけられ、死んだかのように見えた。しかし、その致命的な傷は治り、全世界の人々は感服して野獸に従った。4 そして人々は竜を崇拜した。竜が野獸に権威を与えたからである。さらに入々は野獸をも崇拜し、こう言った。「誰がこの野獸に匹敵するだろうか。誰がこの野獸と戦えるだろうかを読む。) この野獸は、体はヒョウですが、足は熊の足で、口はライオンの口です。そして、10本の角があります。これらの特徴は、[ダニエル7章](#)に出てくる4匹の獸の特徴と一致します。とはいって、「啓示」の書ではこれらの特徴が、4匹の別々の獸としてではなく、1匹の野獸として描かれています。また、この野獸は「あらゆる民族や種族や言語や国の

人々を支配する」とも述べられています。ですから、それは単なる1つの政府や国を表しているのではなく、もっと大きなものを表しています。（啓13:7 野獸はさらに、聖なる人たちと戦って彼らを征服することを許され、あらゆる民族や種族や言語や国の人々を支配する権威を与えられた）この野獸は、これまで人類を支配してきた全ての政府を表しているに違いありません。\*7つの頭がある野獸に「10本の角」があることからも、これが全ての政府を表していることが分かります。**10**という数字は聖書の中で、全体性を表すためによく用いられています。（伝8:9 私はこの全てを見た。地上で行われた全てについて真剣に考えた。これまでずっと、人は人を支配し、人に害を及ぼして(\*人を傷つけて/人の損失となって)きた）

7. 野獸の7つの頭のそれぞれには、どんな意味がありますか。

7つの頭のそれぞれにはどんな意味があるか。啓示17章にヒントがあります。そこには、啓示13章に出てくる野獸の像についての説明があります。17章10節にはこう述べられています。「7人の王がいるということです。5人はすでに倒れ、1人は今おり、もう1人はまだ来ていません。来たら、少しの間とどまらなければなりません」。サタンが用いてきた政治勢力のうち、「頭」のように際立っているものが7つあります。それは、神に仕える人たちに大きな影響を与えてきた世界強国のことです。ヨハネの時代までに、5つの世界強国が現れていました。エジプト、アッシリヤ、バビロン、メディア・ペルシャ、ギリシャです。そして、ヨハネが啓示を与えられた時、6番目の世界強国であるローマが支配していました。では7番目の頭、つまり最後の世界強国は何でしょうか。

8. 野獸の7番目の頭は、何を表していますか。

8これから考える通り、7番目の、そして最後の頭が何を意味しているかを理解する上で、ダニエル書の預言が助けになります。「主の日」、つまりこの終わりの時に支配している世界強国は何でしょうか。（啓1:10さて、私は聖なる力によって主の日に連れていかれ、…）それは、協力し合うイギリスとアメリカ合衆国、つまり英米世界強国です。ですから、啓示13章1-4節に出てくる野獸の7番目の頭は、英米世界強国を表していると言えます。



### 子羊のような2本の角がある野獸

「地から」上ってきて「竜のように」話す。「火を天から地に降らせ」、「偽預言者」として奇跡を行う。(啓 13:11-15; 16:13; 19:20) 2本の角を持つ野獸であり、偽預言者でもある英米世界強国は、地上に住む人たちを惑わし、7つの頭と10本の角がある「野獸」の「像を造る」ようにと言う。(9節を参照。)

9. 「子羊のような2本の角があ」る野獸は何を表していますか。

9 啓示 13 章の続く部分では、7番目の頭である英米世界強国が「子羊のような2本の角があ」る野獸として描かれています。この野獸は「竜のように話し始め」、「大きな奇跡を行い、人類の前で火を天から地に降らせることさえ」します。(啓 13:11-15)さらに見ていると、別の野獸が地から上ってきた。その野獸は、子羊のような2本の角があり、竜のように話し始めた。12 そして、初めの野獸が持っていた権威全てを、その前で行使する。また、地とそこに住む人々に、致命的な傷が治った初めの野獸を崇拜させる。13 さらに、大きな奇跡(d\*しるし)を行い、人類の前で火を天から地に降らせることさえする。14 この野獸は、初めの野獸の前で行うことを許された奇跡(d\*しるし)によって、地上に住む人々を惑わす。また、剣の一撃を受けたものの回復した野獸のために像を造るようにと、地上に住む人々に言う。15 そして、野獸の像に命を吹き込むことを許された。それによって野獸の像は話すようになり、野獸の像を崇拜することを拒む人たち全てを殺させる) 啓示 16 章と 19 章で、この野獸は「偽預言者」とも述べられています。(啓 16:13)さらに見ていると、カエルのように見える3つの汚れた息(\*言葉。ギ語プネウマ)が、竜の口と野獸の口と偽預言者の口から出てきた; 19:20 そして、野獸は捕らわれ、野獸の前で奇跡(d\*しるし)を行った偽預言者も捕らわれた。偽預言者は、野獸の印を受けた者たちと野獸の像を崇拜する者たちを、奇跡(d\*しるし)によって惑わしていたのである。野獸も偽預言者も生きたまま、硫黄が燃える火の湖に投げ込まれた) ダニエル書にも同じようなことが書かれています。ダニエルは、英米世界強国が「ひどい滅びをもたら[す]」と述べました。(ダニ 8:19) それから彼は言った。「糾

弾の時の末期に起きる事柄をあなたに知らせます。幻は定められた終わりの時に関するものだからです。[23, 24](#),  
 脚注彼らの王国の末期、違反を犯す者たちの行いが極限に達する時、曖昧な言い回しを理解する(\*悪巧みにたけてい  
 る)、どう猛な顔つきの王が権力を持つようになります(d\*立ち上がり)ます。24 その王の力は強大になりますが、自らの  
 力でそうなるのではありません。彼は甚だしい破滅(\*ひどい滅び)をもたらし、行うこと全てにおいて成功を収めます  
 。力の強い者たちや聖なる民を破滅に至らせます) このことは、第2次世界大戦の時に、実際に起きました。この戦争を終わらせる上で大きな役割を果たした **2つの原子爆弾**は、イギリスとアメリカの  
 科学者によって造られたものでした。こうして、英米世界強国はいわば「火を天から地に降らせ」  
 」たのです。



### 緋色の野獸

この野獸の上に、娼婦である大いなるバビロンが乗っている。この野獸は**8人目の王**と呼ばれている。[\(啓 17:3-6, 8, 11\)](#) この野獸は、**初めは娼婦に操られているが、後に娼婦を滅ぼす**。この娼婦は、世界を惑わしている間違った宗教全体を表している。この野獸は、現在では、**世界的な政治体制のために活動している国際連合**を表している。[\(10, 14-17節を参照。\)](#)

### 10. 「野獸の像」は何を表していますか。[\(啓示 13:14, 15; 17:3, 8, 11\)](#)

10 次に、もう1匹の野獸について考えてみましょう。この野獸は、7つの頭がある野獸と見た目がほとんど同じですが、色は緋色です。この野獸は、「野獸の像」、また「**8人目の王**」と呼ばれています。**\*最初の野獸とは違い、この野獸の像の角には「王冠」がありません。**[\(啓 13:1\)](#) それは、この野獸

の像が「7人の王から生まれ」たもので、それらの王から権威を与えられているからです。（jw.org の「啓示 17 章の緋色の野獸は何を表わしていますか」という記事を参照。）（啓示 13:14, 15）この野獸は、初めの野獸の前で行うことを許された奇跡(d\*しるし)によって、地上に住む人々を惑わす。また、剣の一撃を受けたものの回復した野獸のために像を造るようにと、地上に住む人々に言う。15 そして、野獸の像に命を吹き込むことを許された。それにによって野獸の像は話すようになり、野獸の像を崇拜することを拒む人たち全てを殺させる；17:3 そして天使は、聖なる力によって私を荒野に連れていった。そこで私が見ると、女が緋色の(\*赤い)野獸の上に座っていた。野獸は神を冒瀆する名で覆われており、7つの頭と10本の角があった。8 あなたが見た野獸はかつっていましたが、今はいません。しかし底知れぬ深みから上ろうとしており、やがて滅びることになります。地上に住む人々、世が始まって以来、命の巻物に名前が書かれていらない人々は、野獸がかつてはいたものの今はおらず、後に現れるのを見る時、驚きます。11 かつていたものの今はいない野獸は、8人目の王でもあります。7人の王から生まれて、やがて滅びますを読む。）この「王」は登場した後、一度存在しなくなり、その後再び現れると述べられています。この表現は、世界的な政治体制のために活動している国際連合機構にぴったり当てはまります。この組織は、初め国際連盟として登場し、第2次世界大戦の時に存在しなくなり、現在、国際連合として再び現れています。

11. 野獸はどんなことを行いますか。それを恐れる必要がないのはなぜですか。

11 政治勢力を表しているこれらの野獸は、間違った情報を流すことにより、エホバとエホバに仕える人たちに対する反対をあおります。そして、「全世界の王たち」をハルマゲドンの戦争、つまり「全能の神の大いなる日の戦争」にいわば集めます。（啓 16:13, 14）さらに見ていると、カエルのように見える3つの汚れた息(\*言葉。ギ語プネウマ)が、竜の口と野獸の口と偽預言者の口から出てきた。14 それらは邪惡な天使たちの息(\*言葉。ギ語プネウマ)であって、奇跡(d\*しるし)を行い、全世界の王たちのもとに向かう。全能の神の大いなる日の戦争に王たちを招集するためである。16 それらの息(\*言葉。ギ語プネウマ)により、王たちはヘブライ語でハルマゲドン(\*アルマゲドン。メギドの山という意味)と呼ばれる場所に集められた）とはいえ、私たちは恐れる必要はありません。偉大な神エホバが、ご自分の統治を支持する全ての人を救うために、すぐに行動してくださいからです。（エゼ 38:21-23 主権者である主エホバはこう宣言する。『私は、私の全ての山の上で剣に呼び掛け、ゴグを攻めさせる。全ての人の剣は自分の兄弟に向けられる。22 私は疫病と流血をもってゴグに刑を執行する。そして、激しい雨とひょうと火と硫黄を、ゴグとその兵の上に、また共にいる多くの民の上に降らせる。23 私は必ず自分があがめられるようにし、自分を神聖なものとし、多くの國の人々の目前で自分について知らせる。彼らは私がエホバであることを知らなければならなくなる』）

12. これらの野獸はどうなりますか。

12 これらの野獸はどうなるか。啓示 19 章 20 節にこう述べられています。「野獸は捕らわれ、野獸の前で奇跡を行った偽預言者も捕らわれた。偽預言者は、野獸の印を受けた者たちと野獸の像を崇拜する者たちを、奇跡によって惑わしていたのである。野獸も偽預言者も生きたまま、硫黄が燃える火の湖に投げ込まれた」。ですから、神に敵対するこれらの政治勢力は、まだ機能している間に永遠に滅ぼされることになるのです。

II. 政治的な事柄に関して中立を保つ必要があるのはなぜですか。

13. クリスチャンは政府からどんな圧力を受けますか。

13 私たちは何をすべきか。クリスチャンである私たちは、神と神の王国に忠実でなければなりません。 (ヨハ 18:36) イエスは答えた。「私の王国はこの世界のものではありません。もしそうだったなら、私に付き従う者たちは、私をユダヤ人たちに渡さないように戦ったでしょう。しかし実際は、私の王国はこの世界からのものではありません」) そのためには、政治的な事柄に関して中立を保つ必要があります。そうするのは非常に難しい場合があります。政府から、言葉とを行いの両方の面で全面的に支持するようにという圧力をかけられるからです。とはいって、この圧力に負ける人は野獸の印を受けます。 (啓 13:16, 17) 初めの野獸はさらに、あらゆる人、すなわち、小さな者にも大きな者にも、裕福な者にも貧しい者にも、自由な者にも奴隸にも、右手か額に印を受けさせる。 17 そして、その印、つまり野獸の名である数字を記されている者以外は、誰も売り買ひできないようにする) そして、エホバの怒りを買い、永遠の命を失うことになります。 (啓 14:9, 10) さらに続いて3人目の天使が来て、大声でこう言った。「誰でも、野獸とその像を崇拜し、自分の額か手に印を受けるなら、10 その者も神の怒りのぶどう酒を飲むことになります。神の憤りの杯に薄めずに注がれたぶどう酒を飲むのです。またその者は、聖なる天使たちと子羊の前で、火と硫黄によって苦しめられます; 20:4 また私は、多くの座を見た。それらに座っている者たちは、裁く権威を与えられた。私が見たのは、イエスについて証言し、神について語ったために処刑(d\*おので処刑)された者たち(ギ語プシュケー)だった。野獸も野獸の像も崇拜せず、額と手に印を受けなかった者たちである。彼らは生き返り、1000年間キリストと共に王として治めた) ですから、政府からどんな圧力を受けるとしても、中立を固く保つのは本当に重要なことです。

## 大娼婦の不名誉な最期

14. 啓示 17 章 3-5 節からすると、ヨハネはどんなものを見て驚きましたか。

14 ヨハネはあるものを見て、「非常に驚いた」と述べています。何を見たのでしょうか。恐ろしい野獸に乗っている1人の女性です。 (啓 17:1, 2) 7つの鉢を持つ7人の天使の1人が来て、私にこう言った。「来なさい。多くの水の上に座る大娼婦に対する処罰を見せましょう。2 地上の王たちは彼女と性的に不道徳な行為(\*)をし、地上に住む人々は彼女の性的不道徳(ギ語ポルネイア)のぶどう酒に酔わされました」6) この女性は「大娼婦」で、「大いなるバビロン」と呼ばれています。そして、「地上的王たち」と「性的に不道徳な行為」をします。 (啓示 17:3-5) そして天使は、聖なる力によって私を荒野に連れていった。そこで私が見ると、女が緋色の(\*赤い)野獸の上に座っていた。野獸は神を冒瀆する名で覆われており、7つの頭と10本の角があった。4女は紫布と緋色の布の衣服を着て、金と宝石と真珠で身を飾り、金の杯を持っていた。その杯は、極めて不快なものと彼女の性的不道徳(\*ギ語ポルネイア)の汚れで満ちていた。5 女の額には謎めいた名が書かれていた。「娼婦たちと地上の極めて不快なものの母、大いなるバビロン」という名であるを読む。)

15-16. 「大いなるバビロン」とは何ですか。どうしてそう言えますか。

15 「大いなるバビロン」とは何か。この女性は、政治組織を表しているわけではありません。なぜでしょうか。彼女は政治指導者たちと不道徳なことを行う、と述べられているからです。 (啓 18:9) 彼女と性的に不道徳な行為(\*)をし、一緒に甚だしくぜいたくな暮らしをした地上的王たちは、彼女が焼かれる煙を見る時、彼女のことで泣き、自分の体をたたいて悲しむ) そして、野獸に乗っていることから、これら

の支配者たちを操ろうとしていることが分かります。また、この女性は、サタンの世界の貪欲な商業体制を表しているわけでもありません。商業体制は、「地上の商人たち」として描かれているからです。（[啓 18:11 地上の商人たちも、彼女のことで泣いて悲しむ。自分たちが十分に仕入れた品を買う者がもう誰もいないからである](#)，[15, 16](#)これらの物を売り、彼女から富を得た商人たちは、彼女が受けた苦しみを恐れて離れた所に立ち、泣いて悲しむ、[16](#)こう言う。『残念だ、残念なことだ、上等の亜麻布と紫布と緋色の布の衣服を着て、金の装飾品と宝石と真珠で身を飾った、大きな都市よ）

[16](#)聖書の中で「娼婦」という言葉は、神に仕えると言いながら、偶像崇拜を行ったり世の友になつたりする人たちのことを表すことがあります。（[代一 5:25](#)、脚注ところが、彼らは父祖たちの神に対して不忠実なことをし、自分たちの前で神が滅ぼしたその土地の民の神々を崇拜した(\*神々と売春をした)。[ヤコ 4:4](#)、脚注不忠実な人たち(d\*姦淫をした女性たち)、世との交友は神との敵対であることを知らないですか。世の友になろうとする人は、神の敵になろうとしている）一方、忠実に神を崇拜する人たちのことは、「貞潔な処女」や「童貞」と表現されています。（[コリニ 11:2](#)私は神と同じ思い(d\*神の熱意)で、皆さんのことを探して差し出したいと思っています。[啓 14:4](#)この者たちは、女によって自分を汚さなかった。童貞なのである。そして、子羊が行く所にはどこにでも従っていく。彼らは神と子羊に捧げられる初物(\*)として人類の中から買い取られたのであり）古代バビロンは、間違った崇拜の中心地でした。ですから、大いなるバビロンは、ありとあらゆる間違った崇拜と深い関わりがあるに違いありません。それは、世界を惑わしている間違った宗教全体を表しています。（[啓 17:5](#)女の額には謎めいた名が書かれていた。「娼婦たちと地上の極めて不快なもの母、大いなるバビロン」という名である、[18](#)あなたが見た女は、地上の王たちを支配している大きな都市を表。jw.org の「[大いなるバビロンとは何ですか](#)」という記事を参照。）

[17. 大いなるバビロンはどうなりますか。](#)

[17 大いなるバビロンはどうなるか。](#)啓示 17 章 16, 17 節にはこのように述べられています。「あなたが見た 10 本の角と野獸は、娼婦を憎み、破滅させて裸にし、彼女の肉を食い尽くし、彼女を火で焼き尽くします。神が、ご自分の考えを彼らの心に入れて実行させたからです」。エホバは、国々が緋色の野獸つまり国際連合を用いて、世界を惑わしている間違った宗教全体を攻撃し、それを完全に滅ぼすようにします。（[啓 18:21-24](#)さらに、強い天使が、大きなひき白のような石を持ち上げ、海に投げ込んで、こう言った。「大きな都市バビロンは、このように激しい勢いで投げ落とされ、二度と見られなくなります。22 たて琴を弾きながら歌う者たちの声や、音楽家や笛吹きやラッパ吹きの音は、二度とあなたの耳で聞かれません。どんな仕事をする職人も二度とあなたの中で見られず、ひき白の音は二度とあなたの中で聞かれません。23 ランプの光は二度とあなたの中で輝かず、花婿と花嫁の声は二度とあなたの中で聞かれません。あなたの商人は地上で最も有力な者たちで、あなたの心靈術によって全ての國の民が惑わされました。24 彼女の中には、預言者と聖なる人たちの血、また地上で殺された全ての人の血が見いだされました」）

III. どうすれば「大いなるバビロン」の影響を受けないようにできますか。

18. どうすれば**大きいなるバビロンと一切関わりを持たない**ようにできますか。

18 私たちは何をすべきか。私たちは、「神から見て、清く汚れのない崇拜の型」を守る必要があります。（[ヤコ 1:27](#) 私たちの父である神から見て、清く汚れのない崇拜の型(\*宗教)は、困っている孤児ややもめを世話することと、自分を世に汚されないように守ることです）**大きいなるバビロンの間違った教えや、祝祭や、墮落した道徳基準や、心靈術の影響を受けないようにするべき**です。そして、人々が**大きいなるバビロンの罪に関わらない**よう、「**彼女から出なさい**」と呼び掛け続けます。（[啓 18:4](#) また、天から別の声がした。「私の民よ、**彼女から出なさい**。彼女の**罪に関わったり、災厄に巻き込まれたりしないため**である）

## 神の最大の敵に対する裁き



### 火のような色の竜

サタンは、**7つの頭がある野獸に権威を与える**。（[啓 12:3, 9, 13; 13:4; 20:2, 10](#)）エホバの最大の敵サタンは、**底知れぬ深みに1000年間閉じ込められる**。その後、**「火と硫黄の湖」**に投げ込まれる。（19-20節を参照。）

19. **火のような色の大きな竜は誰を表していますか。**

19 「啓示」の書には、「**火のような色の大きな竜**」についても述べられています。（[啓 12:3](#) また、天に別のしるしが見えた。それは**火のような色の大きな竜**で、7つの頭と10本の角があり、7つの王冠をかぶっていた）この竜は、**イエスや天使たちと戦います**。（[啓 12:7-9](#) そして、天で戦争が起こった。ミカエル(意味「誰が神のようだろか」)と天使たちが竜と戦ったのである。竜と邪悪な天使たちも応戦した。8しかし彼らは勝つことができず(if\*竜は敗れ)，天に彼らの居場所はなくなった。9こうして、**大きな竜は投げ落とされた**。あの初め

の蛇で、悪魔サタンと呼ばれ、全世界を惑わしている者である。彼は地に投げ落とされ、邪惡な天使たちも共に投げ落とされた）また、神に仕える人たちを攻撃し、野獸で表されている政治勢力に権威を与えます。

（啓 12:17 それで竜は女に対して激怒し、彼女の子孫(d\*種)のうちの残っている人たち、すなわち、神のおきてを守り、イエスについて証言する務めを与えられている人たちと戦うために去っていった；13:4 そして人々は竜を崇拜した。竜が野獸に権威を与えたからである。さらに人々は野獸をも崇拜し、こう言った。「誰がこの野獸に匹敵するだろうか。誰がこの野獸と戦えるだろうか？」）この竜とは誰のことでしょうか。それは、「あの初めの蛇で、悪魔サタンと呼ばれ……ている者」です。（啓 12:9 こうして、大きな竜は投げ落とされた。あの初めの蛇で、悪魔サタンと呼ばれ、全世界を惑わしている者である。彼は地に投げ落とされ、邪惡な天使たちも共に投げ落とされた；20:2 その天使は、あの初めの蛇である竜、悪魔サタンを捕らえて、1000年間動けないように縛った）サタンは、神の敵全ての背後にいる黒幕です。

20. 竜はどうなりますか。

20 竜はどうなるか。啓示 20 章 1-3 節 私がさらに見ていると、底知れぬ深みの鍵と大きな鎖を持った天使が天から下ってきた。2 その天使は、あの初めの蛇である竜、悪魔サタンを捕らえて、1000年間動けないように縛った。3 そして竜を底知れぬ深みに投げ込み、そこを閉じて封印し、1000年が終わるまで竜がもはや人々を惑わさないようにした。その後、竜はしばらくの間解放されることになるには、1人の天使がサタンを底知れぬ深みに投げ込むと述べられています。そこは牢獄のような場所です。そしてサタンは、1000年が終わるまで、もはや人々を惑わすことができなくなります。最終的に、サタンと邪惡な天使たちは「火と硫黄の湖」に投げ込まれ、永遠に滅ぼされます。（啓 20:10 そして、人々を惑わしていた悪魔は火と硫黄の湖に投げ込まれた。そこにはすでに野獸と偽預言者もおり、彼らは永久に昼も夜も苦しめられる(\*拘束される)）サタンも邪惡な天使たちもいない世界を想像してみてください。本当に素晴らしい時代がやって来るのです。

21. 「啓示」の書を読む人が幸福だと言えるのはなぜですか。

21 「啓示」の書に載せられているしるしの意味について理解することができて、本当に励みを得たのではないでしょうか。神の敵たちの正体について知っただけでなく、それらの敵たちがどうなるかについても学ぶことができました。確かに、「この預言の言葉を朗読する人と、それを聞く]人たちは、幸福で[す]」。（啓 1:3 竜は海辺の砂の上で立ち止まった。私がさらに見ていると、1匹の野獸が海から上ってきた。10本の角と7つの頭があり、角には10の王冠があり、頭には神を冒瀆する名が記されていた）では、神の敵たちが滅ぼされた後、忠実な人たちにはどんな祝福が与えられるのでしょうか。この点については次の記事で考えます。

覚えていきますか

- I. どうすれば「啓示」の書に載せられているしるしの意味を理解できますか。
- II. 政治的な事柄に関して中立を保つ必要があるのはなぜですか。
- III. どうすれば「大いなるバビロン」の影響を受けないようにできますか。

23番の歌 エホバは統治を始める